

7款 3項 6目

第5章 「住環境が整備された住みやすいまちづくり」

～都市基盤整備の充実～

【会計】一般会計

基本施策6 花とみどりのまちにします

7款：土木費 3項：都市計画費 6目：公園費

施策1 身近な憩いの場の創出に努めます

|      |   |              |
|------|---|--------------|
| 事業   | 6 | 下志津・畔田里山保全事業 |
| 担当所属 |   | 公園緑地課        |

【予算額・決算額】(円)

| 予算額        | 決算額        | (財源内訳)     |      |      |     |       |
|------------|------------|------------|------|------|-----|-------|
|            |            | 一般財源       | 国支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他特財 |
| 11,911,000 | 11,510,100 | 11,510,100 | 0    | 0    | 0   | 0     |

【決算額の節別内訳】(円)

|        |            |  |  |  |  |  |
|--------|------------|--|--|--|--|--|
| 13 委託料 | 11,510,100 |  |  |  |  |  |
|--------|------------|--|--|--|--|--|

【実施計画の概要】

|       |   |
|-------|---|
| 事業の内容 | 里山の自然環境は、古来、日々の農林業の営みによって維持されてきたものであるため、耕作放棄の状態が継続するにつれ、その復元には困難が伴います。そのため、竹木の間伐や下草刈りなどの基礎的な維持管理を通じ、里山景観の復元を図り、市民の身近な憩いの場としての機能保全を図ります。 |
| 事業の目的 | 里山・谷津の景観を再生・保全することにより、自然に触れ合う機会や、自然を通じて学ぶことのできる機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流や、身近なふるさとの文化の継承を図ります。                         |
| 事業の効果 | 谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境の荒廃に歯止めをかけ、昔ながらの景観を再生・保全することで、市民に対し、身近な憩いの場、自然とふれあえる場を提供します。また、次世代に対し、貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。             |

【事業の概要】

- 除草 A=12.05ha
- 林床整理 A=3.7ha
- 巡回管理 A=48.2ha

【活動指標・成果指標】

| 指標名           | 平成25年度 | 平成24年度 | 平成23年度 |
|---------------|--------|--------|--------|
| 維持管理ボランティア団体数 | 4団体    | —      | —      |
| 里山自然環境維持面積    | 48.2ha | —      | —      |